

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1070700255		
法人名	社会福祉法人 ポプラ会		
事業所名	グループホームタンポポ		
所在地	群馬県館林市田谷町1268		
自己評価作成日	H23年2年14日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/">http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人群馬社会福祉評価機構		
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12		
訪問調査日	平成23年4月4日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

タンポポでは食の大切さを理解し、旬の食材を使用したバランスの良い献立と健康面に注意した味付けの工夫をし、喜んで頂ける食欲をそるおいしい料の提供に力を入れています。毎食、入居者と職員は一緒に食卓を囲み、明るく楽しい環境の中で食事を楽しんでいます。ガーデニングランチ、バイキング食を取り入れ、楽しむ食事から全力で入居者の生きる活力をサポートしています。  
また、レクやクラブ活動を充実させ、特に毎日行う生の果実やハーブを使った変わり湯は大好評であり、企画に力を入れています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

毎年、理念実現のため、年間の処遇目標を立て、サービスの向上に取り組んでいる。入居者の表情・笑顔を大切に、基本姿勢として職員は笑顔を保ち、生活のなかでさまざまな取り組みを行っている。食事では、年に3回ほどガーデニングランチやバイキング食を行い、バイキング食ではテーブルいっぱい置かれた料理を目でも楽しむことができ、入居者は料理を選ぶ楽しさを味わっている。また、行事食や地域ならではの郷土料理を提供している。入浴では、香りや目で楽しみながら果実や花を入れた変わり湯を行い、入居者との話題づくりとなっている。それ以外にも、職員のアイデアによりホーム内の随所に季節の花を活けたり、安眠を考えて夜間の排泄量等を検討したり、入院中の入居者の退院後の生活を検討したり、入居者その人の生活全体を考えた支援に努めている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者の笑顔、そして、地域をはじめとする、すべての関係者との絆に重点を置いた理念を掲げている。毎朝全員で理念を唱和し、よりよいケアに向け共有し、実践につなげています。	家庭的な環境の中で入居者が笑顔でいられること、入居者・家族・地域の方との絆を大切にすることを理念に掲げている。理念は、職員が常に見ることができるように事務室と廊下に掲示している。また、毎朝唱和し、入居者の笑顔が見られるよう職員も笑顔を絶やさずに接するなど日々理念の実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事(花まつり)に外出したり、地域の方々が主催する慰問を積極的に受け入れています。また、庭先を草花でオープンにし、訪れやすい雰囲気作り、積極的に親しみやすく地域の方々に声をかけています。	散歩をする方に声をかけたり、訪問しやすい雰囲気づくりを心がけている。中学生の窓拭き等の清掃や話し相手ボランティアを受け入れたり、アコーディオン演奏などをしてもらうなどしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方より、訪問や電話にて認知症に関する相談を受けた際は、親身に対応しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動報告、入居者の処遇状況、写真を載せたタンポポ新聞を添えて報告して、要望助言等を聴取し、サービスの向上のため話し合いを行っています。また、議題を決め固定メンバーの他に、議題に幅が広がるよう新しいメンバーに参加してもらっています。	会議は2ヶ月に1回開催し、会議開催は入居者にも伝え参加できるようにしている。事業所からの報告の他、市からの情報提供や意見交換を行い、職員の顔写真と名前を掲示する検討を行うなど意見を活かした取り組みを行っている。今後更なる活発な会議のため、議題にあわせた参加メンバーの検討を行い打診している最中である。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当者と運営の実態を共有しながら、サービスの質や課題解決に向けて協議し、市と連携しながらサービスの向上に努めています。	運営推進会議においてはさまざまな情報提供を頂き、なかには職員の意見から洪水のハザードマップの資料の頂き、説明を受けるなど積極的に関わっている。会議以外においても、地元のイベント情報・ノロウィルスの嘔吐の際の対応などのアドバイスを受けるなど、日々連絡に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内研修で、身体拘束に関する勉強会を開いています。身体拘束は行っていません。裏口の施錠は、家族に説明をし、門と裏口にはインターホンを取り付けています。安全に配慮した自由な暮らしを支援するよう努めています。	法人で行われた12月の身体拘束廃止に関する勉強会に参加し、理解を深めている。ホールには職員が必ず1名配置し、入居者の所在確認をするようにしている。また、不穏になる夕暮れには、家族と話し合い決まった時間に家族へ電話をかけるなどして入居者に安心してもらったりして、鍵をかけないように努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払	職員同士が悩みを相談し合える良い関係を築き、ストレスを溜めないよう努めています。職員の心のケアにも重点を置き、虐待防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在必要な入居者はいません。管理者や職員は権利擁護に関する制度の理解に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約または改定等の際は、ゆっくり時間をかけ説明し、不安を受けとめ、質問等に答えています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会の際、近況報告と共に必ず意見を伺い、意見交換をしています。また、処遇の向上を目指し、家族に書面で意見を頂き(年に1回)、職員で共有し、話し合いを行っています。	面会時などには家族に状況を報告し、直接意見を聞いている。また、「連絡ノート」を用意して、事業所からの報告の他、家族からも自由に記載できるようになっている。その他、年1回無記名の自由に意見を記載してもらうようなアンケートを実施している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝の申し送りや、職員会議の時間で、職員より運営に関する意見が出ます。その都度話し合いの機会を設け、今後に役立てています。話し合いの内容を申し送りノートに記入、活用しています。	日々の申し送りや職員会議の中で、入浴方法の統一や排泄介助について話し合っている。入居者の退院後の受け入れについても、職員とともに話し合っている。職員会議は年間のスケジュールが決まっており、議題も概ね決まっているため、日々のケアだけでなく運営についても話しやすい環境にある。職員の意見を基に送迎の際の職員配置についてや計画停電時のマニュアル作成などについても検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	こまめに声をかけ、職員の様子をみています。働きやすい環境作りには力を入れています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で2ヶ月に1回、夜に施設内研修を行っており、勉強する機会を設けています。外部の研修にも積極的に参加しており、スキルアップに力を入れています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	レベルアップ研修に参加し、派遣先施設と交流を持ち、感想、気づきを見出すことにより、今後のサービス向上につなげることができた。また、近隣のGHと連絡をとり、相談、報告等行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	困っていることを本人自身から聞けるよう、家族を交えて傾聴しています。やさしく、丁寧に接し、安心できる関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ゆっくり時間をかけ、話しを傾聴しています。安心してもらえるようもらえるよう温かく接するよう心がけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の一番必要とする支援を担当ケアマネージャーと共に話し合い、よりよい方法を見極めるよう努力しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	タンポポでは各人のできることを見極め、家事や庭仕事の役割を持って頂き、互いに助け合う関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎日の行事を家族に伝え、出来るだけ参加を促し、職員と家族が共に入居者を支援しながら、素敵な思い出作りをしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方(友人や近所の人)の訪問時は、本人そして職員はとても感謝し、再訪問しやすい雰囲気を作っています。また電話を使用し、関係が途切れないよう努めています。馴染みの場所には、家族に外出協力を依頼し、出来る限り支援しています。	馴染みのひとが来られる環境づくりを考え、来てもらった時には歓迎をして居室や時にはホールでゆっくり過ごしてもらえるようにしている。時には、入居者の友だちが他の入居者に声をかけたりしていくこともある。また、家族が入っている手話サークルによる手話歌が披露されたこともある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士がケンカに発展しないよう、自然に職員が間に入り、穏やかに生活出来るよう努めています。入居者同士一緒に食事をしているため、「支えあう仲間」との意識を持ち、支え合う姿がみられます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本人、家族と築き上げた絆を大切に、サービス利用終了後も経過を観察し、必要に応じて協力しています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族を交え、本人の思いを聞き、その人らしく生活できるよう努めています。困難な人の場合は、色々な場面参加で、本人を観察し居心地を検討しています。	表情を見ながら、観察を重視して、家族と話し合いながら検討している。入浴においても身体を観察して1人では決して判断せずに他の職員と2人で必ず確認している。また気づいたことは、申し送りや記録に残し、他の職員と共有するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	プライバシーに配慮しつつ、担当ケアマネジャー等の協力のもと情報把握に努めています。情報は共有して日々の生活支援に役立てています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者には担当職員が付いており、一人ひとりをしっかり把握しています。日常の記録や申し送りノートを活用し、		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各入居者の担当職員を中心にアセスメント、介護計画作成、モニタリングを実施し、カンファレンスの時間を中心に話し合いを行っています。やむを得ず、参加できない関係者には事前に意見を聞き、介護計画に反映しています。	ケアカンファレンスは毎回家族に案内し、参加できない場合には事前に意見を聞いている。介護計画の見直しは6ヶ月毎に行い、モニタリングも6ヶ月毎に行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、日常の様子や介護計画に沿ったケアの実践の様子等記録しています。記録はいつでも職員がみれる場所に置き、記録を参考にしながら情報交換し、実践に反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	新たな問題に対し、色々な意見から話し合い、アイデアを持ち寄り、可能性、方法など考えています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員や警察、消防、ボランティア等と協力しながら支援しています。避難訓練では、地元消防、近隣ボランティアの協力を得ています。入居者の心身の力に応じた、安全な生活を支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体に医療機関があり、24時間受け入れ体制ができており、安心して受診されています。また緊急時受け入れできない場合は、他の協力病院と連携をとり適切な医療が受けられるよう支援しています。	母体の医療機関をかかりつけ医をする方も多いが、これまでの既往歴によりこれまでの病院を受診している方もいる。通院は、基本的に家族の対応であり、結果は報告してもらっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体の医療機関の看護師と密に連携、相談しています。また、隣の特養から看護師が応援に来る体制が整っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、面会に行き、医療関係者に状態を伺ったりしています。病院関係者とは相談し合える関係です。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階から本人、家族、関係者と話し合いを持ち、ホームでのできること、できないことをきちんと説明しています。	胃ろうなど医療的処置が常時必要になった場合には、入院もしくは他の施設への入所ということになっており、入居時また状況が変化した際に説明し相談している。それ以外であれば、職員や家族との話し合いの結果、退院後に生活リハビリにより回復に導くなど、その人の生活に沿った支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は急変や事故にすぐ対応できる知識豊富な経験者ばかりであり、法人内の勉強会や各自で勉強に努めている。また隣の特養の看護師の協力体制が整っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回避難訓練を実施し、地域協力員の方も参加しています。全職員がマニュアルを熟知しています。	災害時にすぐに対処できるようにマニュアルを作成し、電話機にも通報番号を明記している。その他、待機職員の連絡先がすぐにわかるように表示している。年2回避難訓練を実施し、地域協力員にも参加してもらい誘導などを協力して頂いている。地域協力員は、日頃からの行き来もあり、ホーム内も把握しており入居者とも交流がある。また、今回の地震を機に、防災器具を再確認したり、一覧表を作成し備蓄を保管している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護の勉強会を行っています。一人ひとりの個々を尊重し、気持ちを損ねないその人に合わせた声掛け、対応を行っています。	プライバシー保護の勉強会では、「忘れてはならない18ヶ条」「あいさつ」などの資料を基に、日々の業務における注意事項を再確認する場を設けている。また、家庭的な環境を大切にしながらも一人ひとりを敬い、呼称は名前にさんづけで呼んでいる。また、トイレ誘導の際にはあからさまにいうことは避け、「ちょっといいですか」などと声をかけるようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各入居者の理解度に合わせ、丁寧に説明し、自己決定してもらっています。職員は、常に思いや希望を聴取し、より良い暮らしになるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでの一日の流れはあるが、型にはまることなく、入居者の希望を優先し、自由に過ごしてもらっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出張美容室を利用し、本人の望むヘアースタイルにしています。各居室洗面台には大きな鏡があり、その人らしいおしゃれができるようクリームや化粧品が置いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各入居者の好き嫌いを把握し、メニューを豊富に揃え安全に楽しみある食事を提供しています。野菜の皮ムキ等一緒に準備、片付けを行っています。職員も一緒に会話をしながら、ゆっくり食事を楽しんでいます。	法人の管理栄養士が栄養のバランスのとれた献立を作成し、ホームで作成している。年に3回くらいは庭先でのガーデンランチをしたり、バイキングで好きなものを選んだりするなどしている。また、入居者の好物のうなぎをとるなどしている。入居者はふきの皮むきやおやつづくりではホットケーキを返したり、職員と共に食事をし、食後は歌を歌ったりして手拍子が出るなど食事を楽しんでいる。また、季節毎の食事の他、この地域ならではの初午には「しもつかれ」を提供するなど食事を大切に支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員と一緒に食事しているため、食事、水分量を毎日確認しています。水分はこまめに提供し、種類を豊富に揃え、ゼリーも常備しています。隣の特養の管理栄養士の協力体制も整っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの力、口腔状態に応じたケアをし、清潔保持に努めています。夕食後、一人ひとりの状態把握のため、口の中を観察しています。入れ歯はポリドント洗浄しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の失敗やおむつでの不快感を減らす為、定時の排泄ケアとそれ以外の時間でも随時行っています。オムツの人も職員2名で安全にトイレで排泄する機会を増やしています。	できるだけ、トイレでの排泄ができるように、尿意・便意のある方にはコールを押してもらってトイレでの排泄をしたり、おむつであってもポータブルトイレで腹圧をかけて排泄できるように支援している。また、排泄チェック表で誘導・失禁の記録をしている。現在、安眠のため夜間の誘導を減らせるよう排泄チェック表を基に検討するなどしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便表を記入し状態を把握しています。管理栄養士が作成した野菜、フルーツをたくさん盛り込んだメニューと毎日牛乳を提供しています。必要に応じて医師に便の状態を報告し、指示を仰ぐ場合もあります。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は2ユニット毎日交互に行っている為、常に入浴できる体制であり、本人のペースに合わせた支援をしています。毎日入浴剤を使用する他、毎月の変り湯を実施し、皆さん楽しみにしています。	入浴は週3回であるが、それ以外の日も入浴日となっているため入浴できる体制にある。毎月の変り湯として、さざんか湯や菊湯なども行い、それにちなんだ歌を歌ったりするなど入居者が楽しめるよう支援している。嫌がる方には、無理強いせずその方の時代を背景にした誘導をするなどして入浴を勧めている。重度化した場合にも、シャワー椅子や回転椅子などを用意して、できるだけ湯船に入れるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	週1回シーツ交換を実施し、天気が良い日は寝具を干しています。ベット周りの照明、リラックスできる香り等工夫しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋ファイルがあり、各入居者の薬が明確にされており、いつでも閲覧できるようになっています。薬変更時や臨時薬はその都度、申し送りし、状態の変化を記録しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各々の趣味や生きがいを把握し、様々なレクやクラブ活動、行事を企画しています。行事がマンネリ化しないよう新しい挑戦をし楽しみごとの支援をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の体調に合わせ、安全に外出する機会を増やしています。市の職員より地域の行事を教えてもらい、関係者の協力のもと外出を支援しています。	天気のよい日には、庭先に出たり、周辺への散歩に出かけている。また、近隣の法人のクローバー荘の喫茶店に行くこともある。季節にあわせて外出行事に出かけたりしている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持を希望する方には、家族、職員が注意を払いながら、持ったり、使ったりしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を活用し、家族や馴染みの方と話しをする方がいます。また、相手からかかってくると皆さん大変喜ばれています。年賀状を一緒に作成しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井を高く、木を使用した作りのため、広々と温かく、ゆったり過ごせる空間を目指しています。至る所にソファを設置し、季節感ある作品や生け花を觀賞しながら四季を感じる工夫をしています。	庭先には季節の花が芽吹き、ホーム内には職員の家庭から持ち込まれた季節の水仙や雪柳・桜が所々に飾られて華やかな印象である。また、習字や入居者が作った貼り絵にはお団子を食べている様子なども描かれて作成する過程まで伝わってくる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ゆったり過ごせるようテレビ前にはソファを置き、日当たりの良い玄関前には草花が鑑賞できるスペースを作り、思い思いに過ごしています。和室でのびのびと過ごす方もいます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にあるものは使い慣れたものを使用し、自宅に近い自由な環境作りを目指しています。	居室は本人と相談しベットや物入れなど好きなように配置するようにしている。なかには、洋服ハンガーや鏡台などを置かれている方もいる。家族の作ったパッチワークが壁に飾られていたり、家族がつくった家族の大きな写真が飾られていたりしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内に手すりを設置し、段差はなく安全な環境に十分注意しています。ポータブルトイレ等使用し、出来るだけ自立した生活が送れるよう工夫しています。		